

フロリダ大学 定期レポート（6月、7月）

法文学部言語文化学科

田中優希乃

フロリダでの生活も、早くも半年を残すところとなりました。今回のレポートでは夏休み中の6月、7月の生活について書こうと思います。

5月はジャクソンビルという街にある友達の家で過ごしていましたが、6月になってフロリダ大学があるゲインズビルという街に戻りました。夏休みの間は学生寮が閉まってしまうので、2か月だけアパートで一人暮らしをしています。いよいよ本格的な暑さ（37度など）になって、昼間は外出することが億劫なほど日差しが厳しいです。アパートは学校から徒歩15分ほどの距離で、近くにスーパーやファストフード店もあるので車がなくても生活には困りません。アメリカの食生活は身体にあまり合わないので基本的にアジアンマーケットやスーパーなどで食材を買って自炊をしています。卒業論文や就職活動などがあるため、夏季授業は取っていません。しかしほとんど毎日大学に行って、図書館で勉強をしたり、アルバイトをしたりしています。

6月の頭に、友達4人と3泊4日でニューヨークに行きました。空港まで友達の運転で車で行き、そこから飛行機に乗りました。ニューヨークはフロリダよりも気温が低く、快適で過ごしやすかったです。日本のようにコインロッカーがなくて困りました。宿は、Airbnbというゲストハウスのようなものを利用しました。ホテルよりかなりお得に泊まれるので、アメリカではすごく人気です。日本ほどではありませんが、ニューヨークは地下鉄やバスなどが便利だったのでそれらを利用し移動しました。初日はセントラルパークや市立図書館などに行きました。セントラルパークはとても広く、回りまわることができませんでした。二日目は自然博物館に行きました。またブルックリンのほうに行き、お店を回ったり、ブルックリンブリッジを渡りました。写真でしか見たことがなかったので感動しました。自由の女神も橋から見ることができました。三日目は、メトロポリタン美術館に行きました。とても広く、圧巻でした。また、チャイナタウンやリトルイタリーなどに行き、夜はタイムズスクエアに行きました。ブロードウェイのミュージカルも観に行きました。友達のおかげでとても楽しく、充実した時間を過ごすことができました。

6月の終わりにコロナウイルスに感染してしまいました。高熱とどの痛みが酷く、一週間以上寝込みました。友達に車を出してもらい、ドライブスルーでのPCR検査をCVSという薬局のようなところで受けて、自宅待機をしました。アメリカで買った鎮痛剤を飲んでいましたが、

日本のおかゆやゼリーなどがあまりなく、かなりしんどかったです。こういう事態に備えてレトルトのおかゆやポカリのパウダーなどを持っていくといいと思いました。

夏休み中は多くの友達が実家に帰ってしまっていますが、それでも大学付近に残っている友達が何人かいるので一緒に様々なところに出かけたり、家で映画を見るなどしています。また、気に入りのカフェを見つけたので、よくそこへ行き読書をしたりしています。8月の半ばまで夏休みなので、秋学期の準備もしながら、残りの休みを有意義に過ごそうと思います。

